

WEEKLY SIGNAL

平成27年11月13日(金) 1299号

上田八木短資株式会社

来週の市場とレート予想

	11/16(月)	11/17(火)	11/18(水)	11/19(木)	11/20(金)
無担保O/N	0.030% ~ 0.125%				
銀行券	+ 1,000	ト ン	ト ン	△ 2,000	△ 3,000
財政他	△ 19,000	+ 2,000	△ 1,000	△ 27,000	△ 12,000
資金需給	不 18,000	+ 2,000	不 1,000	不 29,000	不 15,000
主な要因	国庫短期証券発行・償還(3M) 国債発行(2年・30年)・償還(2年)	交付税特会借入・償還		国債発行(5年)	国庫短期証券発行・償還(1Y)
オペ期日	共通担保(全店) △ 1,200 CP等買入 △ 300				
オペスタート	共通担保(全店) + 1,100 社債買入 + 800 ETF買入 + 100	国債買入 + 7,800 短国買入 + 15,000			
(日本)	国内総生産(GDP7-9月期)		日銀金融政策決定会合 (19日まで)	日銀金融政策決定会合 (2日目) 黒田日銀総裁、会見 貿易収支(10月)	日銀金融経済月報(11月) 黒田日銀総裁、貨幣博物館 リニューアルオープニング式典で あいさつ
(海外)	米 NY連銀製造業景況指数 (11月) 欧 ユーロ圏消費者物価指数 (10月改定値) 欧 EU外相理事会	米 消費者物価指数(10月) 米 鉱工業生産(10月) 米 タル-ロFRB理事講演	米 MBA住宅ローン申請指数 (前週分) 米 住宅着工件数(10月) 米 FOMC議事要旨公表 (10月27-28日会合分) 米 NY連銀総裁・クープランド 連銀総裁、アトランタ連銀総裁が パネル討論に出席	米 新規失業保険申請件数 (前週分) 米 景気先行指標総合指数 (10月) 米 アトランタ連銀総裁講演 欧 ECB議事要旨	独 ECB総裁講演 欧 ユーロ圏消費者信頼感指数 (11月)

【インターバンク市場】

無担保ターム物	予想レンジ
SPOT 1M	0.075 ~ 0.120
SPOT 2M	0.118 ~ 0.155
SPOT 3M	0.119 ~ 0.160
SPOT 6M	0.120 ~ 0.170

＜インターバンク＞

今週の日銀当座預金残高は週初245兆円台から始まり、その後は国債発行等の影響により10日には244兆円台に減少したが、日銀による国債・国庫短期証券買入オペ等潤沢な資金供給により11日には247兆円まで増加。週末にかけて同水準で推移した。
無担保コールON物は一部試し取りが実施されたことから、0.12%超の出合いも散見されたが、その他は概ね0.075～0.078%で取引された。加重平均金利は週を通し0.077～0.078%となった。ターム物は1W物が0.11%台後半で取引された。9日に実施された国庫短期証券買入オペは、2日オファー分(7,500億円)対比1兆円増額の1兆7,500億円でオファーされた。落札結果は応札3兆2,546億円、按分レート0.005%となった。前回実施分より多い金額でオファーされたものの、無難な結果となった。

【オープン市場】

NCD 3M	0.060 ~ 0.110
CP3M(a-1+)	0.060 ~ 0.075
TDB 3M	▲0.020 ~ ▲0.005
現先(on/1w)	0.060 ~ 0.100

＜CP＞

今週の入札発行額は約4,700億円で、期落ち(金融機関・ABCP除く)とほぼ同額の発行結果となった。年内物中心のショートターム案件が多く、発行額の7割強となっていた。a-1格相当の3M物入札発行レートは、0.07%割れ～0.08%台後半での動きとなった。
現先レートは、0.060%台～0.100%程度で推移した。来週の期落ち額は、約5,800億円となっている。16日に、CP買入オペ(3,500億円オファー予定)である。

＜TDB＞

12日に国庫短期証券3M第570回債の入札が行われたが、最高落札レートは△0.0186%(前回債△0.0037%)、平均落札レートは△0.0301%(前回債△0.0055%)と前回債から利回りは大きく低下した。セカンダリーは3Mで△0.036%近辺の出合い。6M、1Yは目立った出合いは見られなかった。来週17日に1Y、18日に3Mの入札が行われる予定である。

＜レポ＞

足許GCは週初短国・国債買入オペが2兆9,300億円オファーされたこともあり、先週末対比0.02%程度低下の0.04%近辺での出合いから始まった。その後も0.04%近辺での出合いで推移するも、積み最終日となる13日受渡物ではレートが上昇し0.06%台の出合いが見られた。また16日受渡物では30年債、2年債、TDB3Mと発行が重なったこともあり、レートが上昇し0.08%台での出合いとなった。週末には短国・国債買入オペが合計2兆2,000億円オファーされ、0.04%～0.05%での出合いとレートが低下し越週した。
SCは20年154回債が25日の入札に向けてON物、発行日エンド物共にネガティブレートでの出合いが見られた。5年債は124・125回債、10年債は323・325・327・328・329・335・339回債、20年債は152・153・154回債に引合いが多く見られた。

本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。